

平成22年7月9日
人事課
内線 2133

奈良市「職員養成塾」の開催について

基礎自治体である奈良市において、職員に地方分権・地域主権を実行できる能力と知識がなければ、自分たちの地域のことを自ら決定していくことはできません。

これからの厳しい行財政の課題や環境に迅速かつ適切に対応できる自治体職員に必要な能力を養成するために職員養成塾を開催します。

目 的

より能動的に、より時代のニーズにあったスキルを身につける自己研鑽の場として、自ら学ぼうとする職員に学べる環境を提供し、これからの自治体職員に求められる能力を養成すること。

特 徴

やらされる研修から、自ら提案し運営する研修へ

命じられ、決められたプログラムに従って受講する研修ではなく、職員が自ら学びたいカリキュラムを提案し、運営にも参画

新しい施策を創造するため、柔軟に発想を転換

新しく独創的な施策を創造するために、今ある常識をいったんリセットし、柔軟に発想を転換

幅広い人的ネットワークの形成

研修を通じて、職員同士、他の自治体職員、有識者や地域住民との交流を広げ、幅広い人的ネットワークを形成

モチベーションの向上

地方行政の変革に携わる有識者や地域活性化に取り組む地域住民の方などに来ていただいて、職員に刺激を与え、モチベーションを向上

最新の知識や、スキルの獲得

これからの地方行政に必要な最新の知識や、地域住民と協働して行政を進める上で必要となるコミュニケーション能力や政策形成能力などのスキルを獲得

運営方針

- ・平日夜間や週休日に、自主研修として実施
- ・研修の企画・運営に、受講者が主体的に参画
- ・研修中は、上司・部下など普段の上下関係は離れてフラットな関係を保持
- ・テーマに応じて、できるだけ住民の方に開かれたプログラムを構成
- ・知識や技能を修得するだけでなく、研修の成果を外部に向けて発信することを目標

対 象

奈良市職員

テーマに応じて、他の自治体職員や地域住民の方と協働で実施

実施時期

7月から3月にかけて、毎月2回程度実施
(平日の夜間や、週休日など就業時間外に行う)

申し込み

各回、個別申し込み(受けたいテーマの研修を選択して受講)

カリキュラムの構成 別紙のとおり

職員養成塾 講座一覧(前期分)

実施月	項目	No.	テーマ	講師等	プロフィール	実施日	日数	方法	市民公開
7月	これからの 公務員像	第1回	分権時代の自治体職員のあり方	(イツガ ヒロアキ) 稲継 裕昭	早稲田大学政治経済学 術院教授	7月26日 (月)	1日 (18:30～ 21:00)	講演(1.5h)+ グループワー ク(1h)	
8月	障がい者の 自立と支援	第2回	チャレンジドを納税者にできる日本 ～チャレンジドや高齢者が、元気で誇 りを持って働ける国に～	(タケカ ナミ) 竹中 ナミ	社会福祉法人プロッ プ・ステーション 理 事長	8月3日 (火)	1日 (18:30～ 21:00)	講演(1.5h)+ グループワー ク(1h)	
8月	奈良の情報 発信	第3回	再発見！奈良の魅力	(テツタ リオ) 鉄田 憲男	南都銀行総合企画部副 参事 ブロガー (tetsudaプロ グ「日々ほぼ好日」)	8月下旬で 調整中	1日 (18:30～ 21:00)	講演(1.5h)+ グループワー ク(1h)	
9月	ファシリ テーション 能力	第4回	ファシリテーター養成講座	(カハツ タメタ) 永橋 為介	立命館大学産業社会学 部准教授	9月8日～ 9月9日	2日 (18:30～ 21:30)	講義+実習 (3h)×2	
9月	これからの 地方自治	第5回	地域主権時代の基礎自治体のあり方	(トシ キイチウ) 富野 暉一郎	龍谷大学法学部政治学 科教授 元逗子市長	9月下旬で 調整中	1日 (18:30～ 21:00)	講演(1.5h)+ 意見交換会 (1h)	市民公開 講座
10月	コミュニ ケーション 能力	第6回	表現力を磨く演劇ワークショップ	(ヒラタ オリザ) 平田 オリザ	劇作家・演出家 こまばアゴラ劇場支配 人	10月2日 (土)	1日 (10:00～ 17:00)	講義+実習 (6h)	

7回目以降は今後決定

(今後の研修テーマ：環境問題、地域活性化、市民協働、これからの日本、政策法務能力、政策形成能力、等を検討中
再度、検討会を開催し、職員の希望を聞きながら、研修内容を決定)

職員養成塾 第1回

分権時代の自治体職員のあり方

1. 趣 旨

暮らしの現場である地域から制度や施策を創りあげていこうという地方分権・地域主権への流れの中で、私たち自治体の職員にはそれを担う能力が必要とされています。

では、実際「市の職員として具体的にどのような能力が必要なのか？」と問われてイメージすることができるでしょうか。

今回の研修では、分権時代を担う自治体職員にとって、どのような能力が必要で、意識や働き方をどう変えていけばよいのかを、稲継先生のご講義をお聞きし、ワークショップ形式で職員同士が意見交換を行い、認識を共有します。

具体的なイメージや目標を持つことによって、初めて人はそれを達成するために動き出すことができます。職員みんなで分権時代を担う職員像というイメージを確立し、共有しましょう。

2. 日時・場所

平成22年7月26日(月) 18時30分～21時(予定)
奈良市役所 中央棟6階 正庁

・地方分権、地域主権って？

・私たち職員はいったい何をすればいいの？

3. 内 容

(1)開会挨拶・オリエンテーション

(2)基調講演

早稲田大学政治経済学術院 教授 稲継 裕昭さん
テーマ「分権時代の自治体職員のあり方」

講師推薦者(k課hさん)の声(職員養成塾では、皆様のご意見ご要望を参考に研修内容や講師の方を選定しています。)
稲継先生は、総務省人材育成等アドバイザーをはじめ、内閣府、総務省、人事院などの国の機関や自治体の審議会委員を多数務められており、地方自治体職員の人材育成についての第一人者です。
出身は大阪市職員で、公務員の立場をよく理解した、わかりやすく納得のいくお話をいただけます。
とにかく、一度参加して先生の話聞いてみてください。きっと得るものがたくさんありますよ。

(3)参加者全員によるワークショップ(ワールド・カフェ)

ワールド・カフェ(1)を活用して、地方分権・地域主権時代に私たち公務員はどのような働き方をし、どんな能力が必要になるのか、自分たちで考えます

1 ワールド・カフェ

ワールド・カフェとは、「知識や知恵は、機能的な会議室の中で生まれるのではなく、人々がオープンに会話を行い、自由にネットワークを築くことのできる『カフェ』のような空間でこそ創発される」という考え方に基づいた話し合いの手法です。

具体的には、それぞれのカフェ・テーブルに見立てた机上の模造紙に自由にメモを描きながら、20分から30分程度の話し合いを行います。これをメンバーを変えながら3回程度行うことで、テーマに対する理解が深まりアイデアが相乗的に広がります。最後に、参加者全員で意見交換を行い、アイデアを共有します。

詳しくは以下のホームページを参照してください。

ワールド・カフェ・ネット <http://world-cafe.net/>